

南アメリカ・オセアニア 州

名前

- 問1 各大陸の総面積のうち「熱帯」の気候区が占める割合を比較した統計において、他の大陸よりも際立って高い割合を示し、大陸のほぼ全域が熱帯に含まれる大陸があります。赤道付近に位置し、世界最大の流域面積を持つアマゾン川が流れるこの大陸の名称として正しいものはどれですか。 (2021年 秋田県公立入試 類似)
1. 北アメリカ大陸 2. アフリカ大陸 3. 南アメリカ大陸 4. ユーラシア大陸
- 問2 2011年の統計において、世界全体の産出量のうち中国が約30%、オーストラリアが約20%、ブラジルが約18%を占めている鉱産資源があります。ブラジル北部のカラジャスなどで大規模に採掘され、鉄鋼業の重要な原料となるこの資源の名称として適切なものはどれですか。 (2015年 佐賀県公立入試 類似)
1. 銅 2. 鉄鉱石 3. 原油 4. 石炭
- 問3 ペルーの主要な水産資源であるアンチョビの利用や、その背景にある環境について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 東京都公立入試 類似)
1. アンチョビは暖流の影響で大量に発生し、その多くが日本や中国向けの生食用として空輸され、ペルーの輸出額の過半数を占めている。
2. アンチョビはタコやイカとともに乾燥加工され、熱帯雨林が広がる首都周辺の住民にとって唯一の現金収入源となっている。
3. アンチョビの漁獲量は、エルニーニョ現象が発生して沿岸の海水温が低下すると急増するため、国の経済を支える安定した資源となっている。
4. 漁獲されたアンチョビは、主に家畜の飼料や肥料となるフィッシュミールとして輸出されるほか、国内の山岳地帯では重要なタンパク質源として利用されている。
- 問4 南アメリカの諸地域における農業の特色について、アンデス山脈周辺の地域において古くから主食として栽培されている農作物の名称として正しいものを次の中から選びなさい。 (2024年 岐阜県公立入試 類似)
1. ジャガイモ 2. キャッサバ 3. トウモロコシ 4. サトウキビ
- 問5 南アメリカ州においてキリスト教への改宗が進み、現在も広く信仰されている背景に関する説明として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 熊本県公立入試 類似)
1. 20世紀の第二次世界大戦後に、独自に発生した新宗教であるため。
2. 古代のインカ帝国において、キリスト教が国教とされていたため。
3. 16世紀以降にスペインやポルトガルによる植民地支配が行われたため。
4. 19世紀以降にアジアからの移民が大量に流入して布教を行ったため。
- 問6 ある国について、首都の人口が約一千万人におよび、就業者全体の約三十三・七パーセントが第一次産業に従事しているという統計データがあります。また、険しい山岳地帯の遺跡と、そこで佇むリャマの姿が象徴的な景観として知られています。この国の産業や文化について説明した文として正しいものを選びなさい。 (2024年 愛知県公立入試 類似)
1. 国土の大部分が平坦な低地で、アジアから伝わった米の生産が盛んであり、住民の多くは仏教を信仰している。
2. アンデス山脈の高地原産であるジャガイモが重要な食料源となっており、伝統的な生活習慣とキリスト教が融合した文化が見られる。
3. 輸出額の大部分を電子機器が占める工業国であり、山間部での農業は衰退し、現在では沿岸部の都市に人口が集中している。
4. 降水量が極めて少ない乾燥帯に属し、ラクダを利用した長距離交易が発達しており、イスラム教のモスクが各地に点在している。
- 問7 農産物の生産統計において、とうもろこしの生産量がアメリカ合衆国・中国に次いで世界第3位であり、鉄鉱石の産出量でもオーストラリアに次いで世界第2位を占めている南アメリカの国はどこですか。 (2022年 秋田県公立入試 類似)
1. サウジアラビア 2. カナダ 3. フランス 4. ブラジル
- 問8 南アメリカ大陸の西側にそびえるアンデス山脈の断面的な特徴に関連して、この地域の住民の生活様式を説明したものとして適切なものはどれですか。 (2022年 香川県公立入試 類似)
1. 標高が高くなるにつれて気温が下がるため、高地ではジャガイモなどの栽培やリャマ、アルパカの放牧が行われている。
2. 標高が高い地域ほど温暖になるため、山頂付近ではコーヒーやサトウキビの栽培が盛んに行われている。
3. 険しい地形を活かして、大陸を東西に結ぶ大規模な鉄道網が発達しており、山脈を越えた貿易が経済の中心となっている。
4. 山脈の断面形状が平坦であるため、大規模な機械を導入した小麦の企業的穀物農業が山岳地帯のいたるところで展開されている。
- 問9 ブラジルの農業統計において、牛肉の生産量が世界第2位を記録するなど、同国は世界有数の畜産大国として知られています。しかし、この生産体制を維持・拡大するために行われている、ある環境破壊が国際的に問題視されています。その内容として最も適切なものはどれですか。 (2023年 群馬県公立入試 類似)
1. 肉牛を放牧するための牧場を確保しようとして、広大な熱帯林が伐採されている。
2. ヤギの乳を製品化する過程で、大量の不純物がアマゾン川に排出されている。
3. 羊の毛を加工する工場を建設するために、沿岸部のマングローブ林が破壊されている。
4. 豚の飼料となるトウモロコシを輸入するために、大規模な港湾施設が建設されている。
- 問10 オーストラリアの輸出相手国は、第1位が中国、第2位が日本という構成になっています。これら東アジアの国々に対し、オーストラリアが果たしている役割と貿易構造の説明として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 千葉県公立入試 類似)
1. 鉄鉱石や石炭などの鉱産資源を輸出し、機械類や自動車などの工業製品を輸入する資源輸出处の構造
2. 小麦や羊毛などの農産物を専門に輸出し、相手国から安価な労働力を受け入れるモノカルチャー経済の構造
3. 自動車などの高度な工業製品を輸出し、製造に必要な原材料やエネルギーを輸入する加工貿易の構造
4. ICT関連のサービスや技術を輸出し、食料品や衣類などの生活必需品を輸入する第3次産業中心の構造
- 問11 オセアニアに位置する島国のトンガは、日本の卸売市場において国内産かぼちゃの出荷が減少する11月から1月にかけて、集中的にかぼちゃを輸出しています。このように、相手国の需要が高まる時期に合わせて農産物を供給する工夫に関連して、トンガが位置する半球と、その地理的特徴の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2019年 大分県公立入試 類似)
1. 南半球に位置し、日本とは季節が反対になる。
2. 東半球に位置し、日本とは日付変更線を挟んで隣り合う。
3. 西半球に位置し、日本とは昼夜が反対になる。
4. 北半球に位置し、日本とは季節が同じになる。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 南アメリカ大陸	南アメリカ大陸は赤道が大陸の北部を通っており、低緯度地域に広大な陸地が広がっているため、大陸全体に占める熱帯の割合が非常に高いという特徴があります。アフリカ大陸も熱帯の面積は広いですが、南北に広がるため乾燥帯（サハラ砂漠など）の割合も大きく、熱帯の占める「割合」で見ると南アメリカ大陸の方が高い数値を示します。
問2	答え 2 鉄鉱石	ブラジルは世界有数の鉄鉱石の産地であり、特にアマゾン川流域に近い北部に位置するカラジャスは、世界最大級の鉄鉱石の採掘地として知られています。2011年時点の統計では、中国、オーストラリアに次いで世界第3位の産出量を誇っており、インドやロシアとともに世界市場において重要な役割を果たしています。
問3	答え 4 漁獲されたアンチョビは、主に家畜の飼料や肥料となるフィッシュミールとして輸出されるほか、国内の山岳地帯では重要なタンパク質源として利用されている。	ペルーで大量に獲れるアンチョビは、魚粉（フィッシュミール）に加工されて世界中に輸出され、主に家畜の餌や農作物の肥料として使われます。一方で、新鮮な魚が手に入りにくいアンデス山脈などの山岳地帯の住民にとっては、貴重な栄養源（タンパク質）としての役割も果たしています。なお、エルニーニョ現象発生時は海水温が上昇するため、漁獲量は減少します。
問4	答え 1 じゃがいも	アンデス山脈周辺の地域では、地形や気候などの自然環境に合わせて多様な農業が行われています。じゃがいもはアンデス山脈が原産地とされており、標高が高く冷涼な地域においても栽培が可能なため、古くからこの地域に住む人々の生活を支える主食として栽培され続けてきました。
問5	答え 3 16世紀以降にスペインやポルトガルによる植民地支配が行われたため。	南アメリカ州では、16世紀以降にスペインやポルトガルによる植民地支配が進められました。その過程で現地の人々への改宗が行われたため、現在でもキリスト教が定着しています。
問6	答え 2 アンデス山脈の高地原産であるジャガイモが重要な食料源となっており、伝統的な生活習慣とキリスト教が融合した文化が見られる。	ペルーは就業者の約3割が農業などの第一次産業に従事しており、特にアンデス高地では伝統的な農業が今も重要な役割を担っています。ジャガイモはアンデス山脈が原産地であり、標高が高く寒冷な環境でも育つ貴重な作物として栽培されてきました。また、スペインによる統治時代を経てキリスト教が広まりましたが、現地の人々の伝統的な生活様式やリヤマなどの家畜を飼育する文化と結びついて、独自の社会を形成しています。
問7	答え 4 ブラジル	ブラジルは広大な国土を活かした大規模な農業や鉱業が盛んです。とうもろこしや大豆などの穀物生産において世界有数のシェアを誇るほか、世界最大級の鉄鉱山であるカラジャス鉱山などを擁し、鉄鉱石の主要な産出国として日本をはじめとする世界各国に資源を輸出しています。
問8	答え 1 標高が高くなるにつれて気温が下がるため、高地ではジャガイモなどの栽培やリヤマ、アルパカの放牧が行われている。	アンデス山脈は標高が非常に高く、高度が上がるにつれて気温が下がる垂直的な気候の変化が見られます。住民はこの環境に適応し、低地では熱帯の作物を、高地では寒冷な気候に強いジャガイモの栽培や、家畜としてリヤマやアルパカを飼育するなど、標高に応じた多様な生活を営んでいます。また、低地よりも過ごしやすい標高2,000m〜3,000m付近に都市（例：ラパスやキト）が形成されることも特徴です。
問9	答え 1 肉牛を放牧するための牧場を確保しようとして、広大な熱帯林が伐採されている。	ブラジルは世界有数の牛肉生産国であり、その多くを輸出しています。しかし、広大な国土の中で肉牛を育てるための放牧地（牧場）を新たに作り出す際、アマゾン川流域などに広がる熱帯林が大規模に伐採されています。これは二酸化炭素の吸収源の減少を招き、地球温暖化や生態系の破壊といった深刻な環境課題となっています。
問10	答え 1 鉄鉱石や石炭などの鉱産資源を輸出し、機械類や自動車などの工業製品を輸入する資源輸出型の構造	オーストラリアの貿易は、豊富な天然資源を背景にした「資源輸出型」が特徴です。中国や日本といったアジアの工業国に対して、鉄鋼の原料となる鉄鉱石やエネルギー源となる石炭を供給する一方で、自国で不足する機械類や自動車などの工業製品をこれらの国々から輸入しています。
問11	答え 1 南半球に位置し、日本とは季節が反対になる。	トンガは南半球に位置する国家であり、日本がある北半球とは季節が逆転しています。日本がかぼちゃの収穫ができない冬を迎えているとき、南半球のトンガでは収穫に適した時期を迎えます。この関係を利用することで、日本にとっては不足する時期の確保、トンガにとっては有利な条件での販売という利害の一致が生まれています。